

元祖大師法然上人御法語

宿業限りありて受くべからん病はいか
なる諸の仏神に祈るともそれによるま
じき事なり 祈るによりて病も止み命
も延ぶる事あらば誰かは一人として病
み死ぬる人あらん 況やまた仏の御力
は念仏を信ずる者をば転重軽受と云い
て宿業限りありて重く受くべき病を軽
く受けさせ給う 況や非業を払い給わ
んことましまさざらんや されば念仏
を信ずる人はたといかなる病を受く
れども皆これ宿業なりこれよりも重く
こそ受くべきに仏の御力にて これほ
ども受くるなりとこそは申す事なれ
我等が悪業深重なるを滅して極樂に往
生するほどの大事をすら遂げさせ給う
まして此の世に幾程ならぬ命を延べ病
を助くる力ましまさざらんやと申す事
なり

為

令和 年 月 日

淨写